

町政執行方針

平成27年第2回栗山町議会定例会で榎原紀昭町長が町政執行方針を示しました。
栗山町長として10年目の節目を迎え、町民の幸せ実現と次代に誇れる栗山を築くため全身全霊を傾け町政執行に当る決意を語りました。

真夏の御大師山に飛び交う蝶～
道央の美しい大地に輝く栗っ子の笑顔！
ふるさととは栗山です。

我が国の経済は、基調的には緩やかな回復が続けており、3本の矢からなるアベノミクス効果もあつて、経済の好循環が生まれはじめております。

しかし、本町をはじめ地方においては、人口減少・少子高齢社会の急速な進行など中長期的な課題を抱えており、景気の回復基調が実感できない厳しい状況が続いております。

このような厳しい局面にある今こそ、強い信念と気概を持って、数々の試練を乗り越えていく力量が試されるものと思っております。
本年度は、町民の皆さんとともに創り上げた、向こう8カ年の「栗山町第6次総合計画」のスタートとなる年であり、これまで培ってきた「栗山力」・「共生力」・「町民力」の3つの力を結集し、栗山が

持つ潜在力と可能性を引き出す町政を推進してまいります。新年度の町政執行に当たり、挑戦する「5つの基本目標」を掲げ、ふるさと栗山の未来へ確かな道を切り拓く、新たな一歩を踏み出してまいります。

1 子どもと若者の「輝き」

1点目は、子どもと若者の「輝き」が栗山の礎となるまちづくりの推進であります。本格的な人口減少社会の到来が現実の中、持続可能な地域として発展していくために、その鍵を握るのは、子育てや教育環境の整備と若者世代の広がりであります。その重点施策として、「子ども健やか育み宣言」に基づく子育て環境の充実、安心子育ての「経済的支援」および

「施設・環境整備」、地域とともに支える「ふるさと総がかりによる教育」、子どもの成長力を育む「ふるさと自然体験教育」の推進などに取り組めます。無限の可能性を秘める、子どもと若者の「輝き」が栗山の礎となるまちづくりを進めてまいります。

2 幸せ長寿の源「健幸」

2点目は、幸せ長寿の源「健幸」が人生を織りなすまちづくりの推進であります。生活の質や心の豊かさを大切にす時代へと移行する中、生涯にわたり、生きがいを持って暮らせる健康長寿社会を実現するためには、すべての町民が、その可能性を発揮できるステージを創ることが必要であります。

3 新たな賑わい「元氣」

3点目は、新たな賑わいが「元氣」活性化への架け橋となるまちづくりの推進であり、産業の担い手不足や地域経済の衰退が進む中、活力に満ちた産業基盤を創り上げるためには、栗山が持つ資源と潜

その重点施策として、「健康寿命延伸のまちづくり宣言」の実施、「生活習慣改善と疾病予防」、「医療水準・救急医療体制」の維持・確保、高齢者の「居場所・活動の場づくり」の推進などに取り組めます。

在力を磨き上げ、発展軌道に繋げていくことが必要であります。

その重点施策として、「産業担い手育成」、6次産業化支援の「農業・農村ブランド」などの推進、「賑わいあふれる商業・活気に満ちた工業」の振興、超高齢社会に対応する「公共交通システム」の充実、「道路網・住環境」の整備促進、将来を見据えた「市街地形成」の推進などに取り組みます。

我がまちへの新しい人とモノの流れを創出し、新たな賑

わいが「元氣」活性化への架け橋となるまちづくりを進めてまいります。

4 多様なものの「共生」

4点目は、多様なものの「共生」が環境の好循環を育むまちづくりの推進であります。地球温暖化やエネルギー確保などの環境問題が深刻化する中、栗山の恵み豊かな自然環境を維持し、環境保全・再生に向けた取り組みを推進することが必要であります。その重点施策として、広域処理による「ごみ処理体制整備」や「再生可能エネルギー活用」の促進、「自然環境の保全・再生」に向けた教育環境・担い手づくりや自然・農

5 やさしさの絆「思いやり」

5点目は、やさしさの絆で創る「思いやり」が安心を支えるまちづくりの推進であります。人口減少・少子高齢など構造的な課題に直面する中、これまで培ってきたくりやまコミュニティを、さらに発展させていく地域の連帯意識を高める地域づくりが必要であります。

その重点施策として、地域の活性化と賑わいを創出する「コミュニティ活動」への支援、中長期的な視点に立った「効果的な行政運営」の推進、町民ニーズに的確に対応する「効果的な行政体制」の構築、積極的な「行政情報の公開・提供」、「栗山町自治基本条例」に基づく「町政への町民参加と協働」などに取り



町民ニーズを的確に把握する
まちづくり懇談会を開催

栗山で生きる幸せを実感できる町政を展開し、やさしさの絆で創る「思いやり」が安心を支えるまちづくりを進めてまいります。

以下、本年度の主要施策の概要を、「栗山町第6次総合計画」におけるまちづくりの基本目標に沿って申し上げます。

「安心して暮らせるふるさとづくり」

豊かな自然の恵みを未来に引き継ぐ循環型社会を構築するため、再資源化の推進および将来的に安定したごみ処理体制を確立してまいります。

また、再生可能エネルギー導入による環境にやさしい取り組みを推進し、すべての町

環境教育の担い手づくりとして
川の指導者養成講座を実施





民が安心を実感できる環境先進地づくりを進めてまいります。

ごみの再資源化を推進するとともに、共同処理を行う道央廃棄物処理組合への加入に向けた協議を進めてまいります。

また、最終処分場の延命化を図るために、ごみ排出量の減量化やごみ分別のさらなる徹底を進めてまいります。

- ・道央廃棄物処理組合への加入に向けた協議を進めます。
- ・ごみ分別の徹底を図ります。

地球温暖化の原因である二酸化炭素の排出量を削減するため、再生可能エネルギーの利用促進など、環境にやさしい取り組みを進めてまいります。

また、温室効果ガスの排出抑制を行うための「栗山町地球温暖化対策実行計画（区域施策編）」の策定に向け、調査を進めてまいります。

- ・公共施設に太陽光発電システム、LED照明を設置します。
- ・住宅用太陽光発電システム

と学び、生き生きと活動する子ども」を主題に、栗つ子が輝く教育の推進に取り組むとともに、義務教育の高質化・多様化などの課題に対応する指導機能の充実を図ってまいります。

また、北海道介護福祉学校につきましては、積極的な学
生確保対策に取り組むとともに、きめ細やかな指導の充実
により、資質の高い介護福祉
士を養成してまいります。

- ・指導主事を教育委員会に配置します。

- ・特別支援教育支援員の配置を継続し、複式学級学習支援を試行します。
- ・角田小学校体育館の耐震補強工事を実施します。
- ・北海道介護福祉学校学生の施設修学資金制度活用を進めます。
- ・栗山高等学校生徒の各種資格取得を支援します。

「ともに支え合いふるさと栗山の未来を拓く町民」を主題に、町民が豊かに学び、その成果を活かすことができる環境づくりを推進するとともに、関係機関・団体と連携し、家庭の教育機能向上と人間性

「栗山町地域防災計画」に基づき、備蓄の充実や防災知識の普及促進など、町民生活の安全確保を図ってまいります。

また、災害時における円滑な対処のため、避難所の非常用電源設備の整備を推進するとともに、自主防災組織の設置促進と防災士の養成に取り組んでまいります。

- ・ 自主防災組織の設置を促進します。

- ・防災士の養成を図ります。
- ・南部公民館に非常用電源設備を設置します。
- ・総合防災訓練、職員行動訓練を継続します。



町民の安全・安心の確保のため、各種災害発生時に迅速かつ的確に対応できる設備の充実や体制の強化を推進してまいります。

また、広報活動や火災予防
 査察を通じて、防火意識の高
 揚を図るとともに、各事業所
 や町民を対象とした救急講習
 会を実施してまいります。

- ・消防通信指令装置を更新します。

- ・サイレン遠隔吹鳴装置を更
新します。
- ・女性消防団を発足し、消防
団活動を強化します。

交通安全施設の整備を進めるとともに、交通安全協会をはじめ関係機関・団体と連携し交通安全に対する町民意識の高揚を図ってまいります。

また、家庭・地域・学校さらに防犯協会や暴力追放運動推進協議会など関係機関・団体と連携し、地域ぐるみによる防犯体制の強化を図っています。

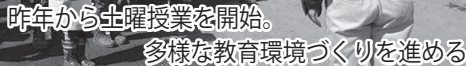
さらに、悪質商法被害の未然防止に係る啓発事業などを進めるとともに、消費者協会と連携し、相談窓口の充実を

- ・南空知4町の広域消費生活相談業務を継続します。

次代を担う子どもたちが夢と希望を描く、「教育を受けるなら栗山」と実感できる栗山らしい豊かな教育環境づくりを進めてまいります。

また、本町の特色であります地域の総合力で創り出す「ふるさと教育」を推進してまいります。

以下、教育委員会の方針を尊重し、教育施策を推進してまいります。



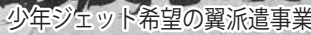
「ふるさと栗山でしつかり

協会など地域スポーツ団体の活動を引き続き支援するとともに、施設の適正な維持・改修を進めてまいります。

- ・成年層を対象としたフィットネス教室を試行します。
- ・公園球場の内野フェンスを改修します。

- ・総合グラウンドの第4種公認を更新します。

少年ジェット希望の翼派遣事業など次代を担う、たくましい実践力のある青少年の育成を図るとともに、角田市との子ども交歓のつどいや被災地福島の子どもたちとの交流など、多様な分野での地域間交流を推進してまいります。





2月に行われた栗山町産の栗で作った「渋皮煮」の試験販売。用意した280個は完売となる好評ぶりでした



地域医療の拠点「栗山赤十字病院」

「健幸に暮らせるふるさとづくり」

・少年ジェット希望の翼派遣事業を継続します。
・ふくしまキッズ栗山サマーキャンプを引き続き支援します。

町民一人ひとりが、多様な生き方を選択し、健幸で生きがいを感じ、活躍できる地域社会の実現を目指してまいります。

また、まちの将来を担う子どもたちを安心して生み育てられる地域環境を整備し、子どもたちの笑顔が輝き、「子育てするなら栗山」と実感できるまちづくりを進めてまいります。

■保健

「第1期栗山町健康増進計画」に基づき、生活習慣病および重症化予防や生活習慣改善活動を推進してまいります。

また、生涯を健康で暮らす「健康寿命延伸のまちづくり宣言」による、地域ぐるみの疾病予防および健康管理意識の醸成を図ってまいります。

○今年の約束

- ・健康寿命延伸のまちづくり宣言を行います。
- ・健康都市モデルの調査研究を進めます。

■農林業

良質な農畜産物の生産と効率的で安定した農業経営を確立するため、栗山町農業振興計画「第3期栗山農業ルネッサンス」に基づき、関係機関・団体や農業振興公社と連携し、多様な担い手の育成や生産基盤の整備、6次産業化の取り組み支援など、栗山ならではの農業・農村ブランドの創出を推進してまいります。

また、森林が持つ多面的機能の維持・増進を図るため、「栗山町森林整備計画」に基づき、森林組合と連携し適正な森林管理や林内路網整備を図ってまいります。

○今年の約束

- ・新規就農者や農業後継者など担い手育成を継続します。
- ・農地中間管理事業による農地の流動化を促進します。
- ・農業基盤整備事業を継続します。
- ・6次産業化の取り組みを支援します。
- ・造林および林道整備事業を継続します。

■商工業

商店街の主體的な集客向上の取り組みを支援するなど、商工会議所と連携し、賑わいにあふれ魅力ある街づくりを

■地域医療

町民の安心な暮らしを守る医療供給体制を確保するため、地域医療協議会など関係機関・団体と連携し、医療水準の維持に努めるとともに、南空知の基幹病院である栗山赤十字病院への支援を行ってまいります。

○今年の約束

- ・栗山赤十字病院に対する支援を継続します。
- ・24時間電話救急医療相談窓口救急安心センターさつぽろに加入します。

■児童福祉

「第1期栗山町子ども・子育て支援事業計画」に基づき、子育て家庭へのきめ細やかな支援事業を実施するなど、安心して子育てができる環境づくりを推進してまいります。

また、「子ども健やか育み宣言」による子育て支援の意識啓発や、妊娠・出産・子育てに関する総合的な情報提供と相談機能の充実を図ってまいります。

○今年の約束

- ・子ども健やか育み宣言を行います。
- ・くりやまライフサポーター事業を実施します。
- ・子育て支援センターの移設



まちの駅「栗夢プラザ」では商店街の活性化対策が行われてる

推進してまいります。

また、栗山工業団地の優れた立地環境を活かし、積極的な企業誘致活動を展開するとともに、町内商工業者の経営安定に向けた支援を、引き続き行ってまいります。

○今年の約束

- ・まちの駅栗夢プラザの運営を引き続き支援します。
- ・積極的な企業誘致活動を展開します。

■観光・交流産業

魅力あふれる地域資源を活かした観光事業の充実を図るため、新たな観光推進体制の構築を関係機関・団体と推進してまいります。

また、栗の産地化および6次産業化を推進するとともに、経済発展の著しい東アジア市場における本町特産品の



子育て支援の拠点「児童センター」では様々な取り組みが行われてる

整備を継続します。

- ・児童センターの改修・設備更新を実施します。

■高齢者福祉

「第6期栗山町高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画」に基づき、介護予防事業の推進を図るとともに、在宅生活支援の充実および医療・介護の連携を含めた地域包括ケアシステムの構築を目指してまいります。

○今年の約束

- ・歩けない、立ち上がれないなどの運動器症候群の予防意識の醸成を図ります。
- ・認知症予防を目的とした脳の健康教室の拡大を図ります。

■地域福祉

家族、地域そして民生委員

販路開拓や、海外からの観光客誘致を進めてまいります。

さらに、移住促進協議会と連携し交流人口拡大と移住・定住を促進してまいります。

○今年の約束

- ・新たな観光推進体制の構築を図ります。
- ・栗の活用プロジェクトを継続します。
- ・移住・定住に向けたPR活動を継続します。

■雇用環境

就業希望者へ積極的な情報提供を行うとともに、ハローワーク専門員による職業相談など就業機会の拡大や、南空知通年雇用促進協議会による季節労働者の通年雇用化を促進してまいります。

○今年の約束

- ・南空知3町合同の職業相談会を引き続き開催します。
- ・季節労働者の資格取得支援などを実施します。

「快適でやさしいふるさとづくり」

人口減少・少子高齢の急速な進行など、時代の潮流を見据えた生活環境整備が求められる中「栗山都市計画マスタープラン」に基づき、地域

児童委員や社会福祉協議会など関係機関・団体などが連携し、地域社会全体で支える体制づくりを進めるとともに、高齢者の知識・技能を活かした社会参加の環境づくりを推進してまいります。

○今年の約束

- ・在宅サポーターなどのセーフティネット支援を継続します。

■障がい者福祉

「第4次栗山町障がい者福祉計画・障がい福祉計画」に基づき、地域自立支援協議会を設置するなど、障がい者の自立と社会参加を促進する総合的なサービスの充実を図ってまいります。

○今年の約束

- ・地域自立支援協議会を設置します。

「賑わいと活力あるふるさとづくり」

地域の個性を最大限に活かした産業基盤の構築が求められる中、本町の基幹産業である農業と各産業が連動する取り組みの推進や、観光・交流産業の活性化による雇用の創出など、我がまちに経済の好循環を実現してまいります。

■道路・交通

幹線町道および橋梁の計画的な整備を進めるとともに、国・道が管理する道路整備について、引き続き関係機関へ強く要請してまいります。

また、町道の適切な維持・向上、冬期間における迅速な除雪体制の整備など、安全確保を図ってまいります。

さらに、地域住民の足である町営バスの利便性と効率化に努めるとともに、超高齢社会に対応するコミュニティバスの実証運行を新たに開始するなど、公共交通システムの充実を図ってまいります。

○今年の約束



町道の改修工事を計画的に実施



「NPO活動応援セミナー」の様子。今年もNPOへの支援は継続されます

- ・杵臼本線道路改良を継続します。
 - ・湯地継立線道路改良を継続します。
 - ・除雪用ドーザーを更新します。
 - ・コミュニティバスの実証運行を実施します。
- 今年の約束**
- ・がんばる栗山プラン21を着実に推進します。
 - ・ふるさと納税制度の普及促進を図ります。
 - ・栗山町公共施設等総合管理計画の策定を進めます。
 - ・社会保障・税番号制度を導入します。
 - ・近隣市町による広域連携を推進します。
- 行政経営**
- 将来にわたって持続し発展する、まちの基盤づくりを推進するため、揺るぎない行政基盤の確立と町民満足度の高い行政サービスを提供するための効果的な行政体制を構築してまいります。
- また、好評のふるさと納税の普及促進にも取り組んでまいります。
- さらに、不誠実な町税などの滞納者に対する厳正な対策を引き続き講じるとともに、行政情報化および広域行政の推進による行政事務の効率化を図ってまいります。



新しくなった「どうえい団地」公営住宅の建て替えは、今後とも計画的に実施を予定

- 今年の約束**
- ・曙団地の建て替えを実施します。
 - ・第4期朝日住宅団地を造成します。
 - ・若者や子育て世代の移住者の住宅支援を実施します。
 - ・人にやさしい住宅助成事業を継続します。
- 上・下水道**
- 老朽水道管および浄水場機器の計画的な更新を進めるなど、良質な水道水の安定供給

- を行ってまいります。
- また、老朽化した下水道管理センター機器更新に着手するとともに、継立地区農業集落排水の公共下水道への統合事業を進め、効率的な処理体制を確立してまいります。
- 今年の約束**
- ・老朽水道管、桜山浄水場機器の更新を継続します。
 - ・下水道管理センター機器の更新を実施します。
 - ・継立地区農業集落排水統合工事を継続します。



ボランティアによる河川整備も行われている

- 河川**
- 倒木除去や樹木伐採など、適正な維持管理を行い、国道が管理する河川の治水対策について、引き続き関係機関に要請してまいります。
- また、ハサンベツ地区にお

- ける自然河川づくりなど、環境と調和したモデル河川整備を促進してまいります。

- 街なみ・景観**
- 地域資源を活かした魅力ある街なみづくりを進めるとともに、新町地区の再開発整備について、地元期成会などとともに引き続き関係機関へ強く要請してまいります。
- また、「栗山町景観計画」に基づき、景観資源の保全・活用を図るなど、ふるさと栗山の魅力を内外に発信してまいります。

- さらに、「栗山町公園施設長寿命化計画」に基づき、老朽化した公園遊具を計画的に更新するなど、利用者の安全確保に努めてまいります。
- 今年の約束**
- ・新町地区再開発整備の早期実現に向け要請します。
 - ・農村環境改善センター駐車場を増設します。
 - ・くりやま景観フォトコンテストを実施します。
 - ・老朽化した公園遊具の更新を実施します。

- 「みんなが主役のふるさとづくり」
- 地域が、自らの発想と創意工夫により課題解決を図る地



キャッチボイスでは、町民の皆さんから数多くのご意見をいただいています。

- 情報共有と町民参加**
- 多様な世代が町政に参加できる機会の充実を図るため、広報くりやまや町ホームページなど多様な情報を発信し、町民の皆さんとの情報共有を図ってまいります。
- また、町民の声をまちづくりに反映するため、まちづくり懇談会の開催やくりやまキャッチボイスなどの広聴活動を展開し、町民参加機会の充実を図ってまいります。
- 今年の約束**
- ・予算説明書の全戸配布を継続します。
 - ・出前型政策説明会を実施します。
 - ・くりやまキャッチボイスを継続します。

- 今、全国では、地域に住む人々が、自らの地域の未来に希望を持ち、個性豊かで潤いのある生活を送ることのできる様々な「地方創生」の取り組みが進められようとしております。
- 私が、3期目の就任に当たり、町民の皆さんにお約束した「5つのステージ」は、まさに、くりやま版地方創生のシナリオそのものであります。
- ホログラフィーの発明で、ノーベル物理学賞を受賞したハンガリーの物理学者デニス・ガボールが、「未来を予測する最も良い方法は、未来を創り出すことにある。」という言葉を残しておられます。
- この言葉は、未来への道筋を見通すことができない困難な時代の中で、「志あれば道は拓ける」くりやま創生に大きな示唆を与え、進むべき道標となるものと確信しております。
- 厳しい現実を前に今こそ、ふるさと栗山の輝かしい未来を創り出す、確かな一歩を踏み出す必要があります。



まちづくり協議会では、防災対策を中心とした自主的な活動が行われている

- 方分権改革が進められる中、栗山らしい個性と潜在力を活かしたまちづくりを進めてまいります。
- 時代が求める真に自律した地域社会の創出を目指し、豊かな可能性にチャレンジする公共システムを構築してまいります。

- コミュニティ活動**
- 新たな価値が絶え間なく生まれ育つ、活気あふれる自治の仕組みを構築するため、様々なネットワークの輪を広げ、町民の強い絆と繋がりを基調とする地域づくりを進めてまいります。
- 今年の約束**
- ・まちづくり協議会の活動支援を継続します。
 - ・NPOの活動支援を継続し



- 開拓120年余、私たちも歴史の一員であることを強く認識し、先人から託されたふるさと栗山の魅力・伝統・文化を真に発展した姿で、次代に引き継いでいくことが使命であると考えております。
- 「ふるさとは栗山です。」を合言葉に、12000町民の顔が見え、「誰もが笑顔で、安心して暮らすまち」の実現に向け、その自覚を胸に、持てる力の限りを尽くしてまいりたいと考えています。

- 終わりに、町民の皆さん、議員の皆さんの一層のご理解とご協力を心からお願ひ申し上げます。

教育行政執行方針

我が国では、情報通信をはじめとする各種技術などが進展する一方で、学力や体力、いじめや不登校、ネット被害、児童虐待、教育格差など、教育上の課題が多様化しております。

「栗山町第6次総合計画」基本構想は、まちづくりの合言葉を「ふるさと」は栗山です。『まちの将来像を『誰もが笑顔で、安心して暮らすまち』としております。

冒頭、第6次総合計画初年度の教育行政執行の要諦について2点申し上げます。

1 地域の力を活かした教育の継承・発展

第5次総合計画下、学校教育も社会教育も、地域と関わりながら、豊かな自然環境を活かした教育を進めてまいりました。今年は、オオムラサキ発見から30年、ハサンベツ里山づくり着手から15年、雨煙別小学校「ヨカ・ヨラ環境ハウスでの宿泊学習開始から5年、魚道が完成し遡上に

期待がかかる初年などの節目の年です。この30年、栗っ子の地域教育にも力を尽くした町民活動の精神を継承し、地域の総合力で創り出す教育を推進することが大切です。

2 学習指導要領に基づく教育課程の一層の充実と学校経営計画のさらなる整備

学校には、学習指導要領に基づき、児童生徒の実態や地域の実情との関連において適切な教育課程を編成する責務があります。意義深いふるさと教育とするためにも、学習指導要領に基づく教育課程の充実を図ることが大切です。

また、「コミュニケーション・スキル」本格導入に備え、各種評価に足る学校経営計画の整備も重要です。

以下、「人々が輝くふるさとづくり」を教育行政推進の合言葉に、学校教育、北海道介護福祉学校の教育、社会教育、自然環境教育の4分野に大別して申し上げます。

学校教育

1 ふるさと栗山でしっかりと学び、生き生きと活動する子ども

～主要施策6点～

テストを実施し、その結果を活用しながら栗山の子どもの体力向上に努めます。

2点目は「安全・安心な学校給食の提供」です。

安全・安心な給食提供のため、施設の適正な維持や備品などの計画的な整備に努めます。栄養教諭を中心とした食育も推進いたします。また、この15年間据え置き給食費負担金につきましては、学校給食に求められる栄養摂取基準の確保や地産地消の取り組みの維持・継続のため、平成28年度からの負担額の適正な改定について検討してまいります。

3点目は「栗っ子の歯の健康増進」です。

小学校のフッ化物洗口を継続します。

4点目は「児童生徒のステ

①「確かな学力の育成」
1点目は「栗っ子の基礎的・基本的学力の定着・向上」です。

すべての栗っ子に、基礎的・基本的な知識・技能を確実に習得させ、自ら考え主体的に判断する力などを育成するとともに、学習意欲の高揚や学習習慣の定着を図る指導に努めます。また、全国学力・学習状況調査や町独自に実施する全国標準学力検査などを活用して栗っ子の学習状況を把握し、学力の向上を図ります。

2点目は「一人ひとりの学習や学校生活への支援の充実」です。

個別指導の充実を期す特別支援教育支援員につきまして、きめ細やかな学習指導や学校生活への適応指導を充実させるため、学習支援や複式学級学習支援を試行します。

また、栗山版個別の教育支援計画「くりっこファイル」の活用により教員の専門性を高め、児童生徒一人ひとりへの教育支援体制の充実を図ります。

3点目は「小中学校英語教育の充実」です。

本町では、外国語指導助手2人配置の好条件を維持し、中学校英語教育の充実ばかり

ポーツ・文化活動への支援」です。

昨年も、栗っ子が全道・全国の舞台で活躍しました。指導者各位に敬意を表し、栗っ子の奮闘を称える次第です。子ども夢づくり基金による児童生徒のスポーツ・文化活動支援、中学校体育連盟の対外試合派遣費補助などを継続します。また、各方面で活躍した栗っ子を称える「輝け！栗っ子賞」も継続実施します。

④「学校教育指導体制の整備」

1点目は「指導主事の配置」です。

義務教育の高質化に即応し、多様化する教育課題の解決を図るには、学校経営を指導する専門的力量を備えた人材が必要です。指導主事を配置し、教育委員会の指導機能を高めます。

2点目は「教員の授業力の向上」です。

教育にあつては教員の資力が鍵を握ります。栗っ子との絆を強めた質の高い授業を保障するため、校内研修の充実、教育振興会指定公開授業の実施、授業改善を目指す「子ども」の学力向上委員会」の取り組みにより、専門的資質の向

ではなく、小学校外国語活動導入の際にも好条件を活かしてまいりました。次の学習指導要領改訂の構想には、小学校高学年英語の教科化と、低学年の外国語活動実施が浮上しております。引き続き、小中学校での英語教育の充実を図ります。

②「豊かな心の育成」

1点目は「道徳の時間を要とする心の教育の充実」です。

自らを律しながら、他と協調し、相手を思いやる心などの「豊かな心」を育成するため、道徳の時間を要に、「私たちの道徳」や副読本を活用し、保護者の協力を得ながら取り組みます。また、栗山の自然環境を活かした体験的学びを通じて、ふるさとを愛す



栗山子ども会議で、いじめ問題について討論

上を図ります。50年を経過した教育振興会につきまして、は、本町の学校数と教職員数の減少や教育課題解決などの観点から見直しを進めます。

⑤「学校施設設備等、教育環境の整備」

1点目は「ICT利活用環境の改善」です。

知識基盤社会到来と言われる中、次代を担う子どもたちには高い情報処理能力が求められます。教育におけるICT機器などの活用は子どもたちの学習意欲向上に極めて有効であります。今年度は、既存設備の有効活用とコンピュータ教室の環境改善を行うとともに、設備の活用方法について教職員との協議を進めてまいります。

2点目は「学校施設の適切な維持・改修」です。

学校施設につきましては、経年変化や耐震基準改定などを踏まえ、角田小学校体育館吊り天井撤去による脱落防止対策を講じるとともに、バスケットゴールおよび照明器具の耐震補強やLED化を行い、地域の避難所としての安全性も確保してまいります。

また、栗山小学校の校長住宅および教頭住宅は建て替



豊かな教育実践研究会など様々な取り組みにより、教職員の専門的資質向上を目指す

る心と自己や他者を尊重し大切にすることを育みます。

2点目は「栗っ子の豊かな感性を育む読書活動の充実」です。

「ミニくりプロジェクト」をはじめとする栗山ならではの図書館活動に併せ、朝の読書活動、ボランティアによる読み聞かせなどにより、子どもたちの豊かな感性や創造性を育みます。

3点目は「連携による生徒指導体制の充実」です。

教育相談員と学校とが一体となる生徒指導の支援、子ども・子育て心の相談室や子育て支援関係機関・団体との連携などにより、不登校をはじめとする諸課題に対し切れ目のない取り組みを進めます。生徒指導上の重要な資料を得るため、学校生活アンケート調査を継続します。いじめ問題につきましては、「いじめ防止対策推進法」に基づく組織により、迅速で確実な指導に努めてまいります。

③「健やかな身体の育成」

1点目は「新体力テストの活用」です。

子どもの体力や運動能力が案じられます。体育の授業の充実に併せ、全学年で新体力



栗っ子の活躍を表彰する児童生徒表彰



活発な活動が行われている図書館

え、栗山中学校の教頭住宅は大規模改修を行います。

⑥「ふるさと総がかりによる教育の推進」

1点目は「コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）の導入準備」です。

平成28年度の本格導入を目指し、各学校に組織した「学校運営協議会準備委員会」により、以下の事項も参考にしながら、それぞれの地域に合った取り組みを検討してまいります。

- (1)地域に開かれたふるさと栗山の学校づくり
- (2)家庭における基本的生活習慣・判断力の形成
- (3)土曜授業の試行
- (4)地域ぐるみによる児童生徒の安全確保

2点目は「ふるさと教育を進める副読本づくり」です。

学習指導要領社会科の小学校3・4年生の目標には「地域の地理的環境、人々の生活の変化や地域の発展に尽くした先人の働きについて理解できるようにし、地域社会に対する愛情を育てるようにする」と記されております。教職員、教育振興会、町民有識者などで編集委員会を組織し、社会科教科書との整合性

を図り、目標達成に資する副読本づくりに取り組みます。

3点目は「安全・安心な登校・下校の確保」です。

我が国では、子どもが登下校中などに事件に巻き込まれる事案が少なからずあります。広域補導連絡協議会やPTAなどの協力を得て校区安全マップを作成し、各家庭に配布するとともに、警察署、道路管理者、PTAなどで構成される協議会を設け、通学路の安全確保対策および関係者による合同点検を実施してまいります。

また、各校區スクールバスにつきましては、児童生徒や保護者の信頼感を一層高めるよう関係課および小中学校と連携し、安定的な運行に努めてまいります。

4点目は「教育費負担軽減」です。

本町では、例えば、「ふるさと体験教育の経費」や「スキー学習の経費」に関する、交通費、宿泊費、教育プログラム利用料、リフト代は公費で賄っておりま。これらを続けるとともに、就学援助や幼稚園通園希望保護者の負担軽減を継続します。

5点目は「栗山高等学校との連携」です。

換留学」です。

19年目となるフィンランド交換留学に4人の学生を派遣し、時代の要請に応える介護福祉士の育成に努めてまいります。

3点目は「町内ボランティアの奨励」です。

本町における学生の存在感を高めて地域とのつながりを強めるため、各種イベントや施設ボランティアへの積極的な参加を奨励してまいります。

4点目は「地域の福祉教育推進」です。

昨年度協定を結んだ北海道栗山高等学校との教育連携のほか、小中学生の介護体験の受け入れや本校教員の派遣などを通じて介護福祉士の仕事や魅力を広く紹介し、地域の福祉教育推進に努めてまいります。

5点目は「同窓会活動の活用」です。

学生募集活動に資するような同窓会活動の活性化に取り組んでまいります。

6点目は「施設設備の充実」です。

音響機器の更新、校舎、学生寮の計画的な改修・整備を進めてまいります。

86年の歴史を誇る北海道栗山高等学校に在籍する生徒が、進路選択も含め自らの教養を高める目的のために、語学・簿記・パソコン検定などの各種資格を取得する場合、その受験に要する経費の一部を支援します。

◎栗山町立 北海道介護福祉学校

～主要施策2点～

開校28年目を迎える本校は2047人の卒業生を数え、地元はもとより空知管内や道内各地に優秀な人材を輩出し、その実績は高く評価され、介護福祉士養成校として確固たる地位を築いております。

我が国では、介護を担う人材確保が喫緊の課題ですが、少子化などにより介護福祉士養成校に進学する高校生は減り続け、道内養成校のすべてで定員割れを生じ、本校も例外ではありません。入学生減は、就職先である老人福祉施設などの人材確保にも影響を及ぼします。

今年度は2つの主要方針を掲げて北海道介護福祉学校の経営に当たります。

①「学生の確保」

本校には、他の養成校にはない際立った三つの特色があ

ります。

(1)道内唯一の公立校という安心感と低廉な学費

(2)資質の高い介護福祉士に育てる教職員の高い指導力

(3)就職率26年間連続100%の実績と高い正職員採用率

これら本校ならではの特色を多くの高校生に伝え、本校の認知度をさらに高めながら学生募集をするため、次の4点をもって臨みます。

1点目は「高等学校進路指導部との連携強化」です。

高校生の進路決定に重要な役割を担う各高等学校の進路担当教員への積極的な訪問を繰り返します。

2点目は「高校生の体験入学への誘導」です。

本校の体験入学には、参加者の約7割が出願するという実績があります。参加者実人員目標を120人とし、定員80人以上の出願を目指してまいります。

3点目は「介護福祉士のイメージづくり」です。

介護福祉士の資格を取得し卒業した同窓生の10年後、20年後の職業人としての姿をホームページで紹介し、介護職を目指す高校生が自己の将来像をより具体的に描けるよ

町民のニーズに基づく学びへの支援を充実させるとともに、協定大学との連携による専門的な学びの機会を提供し、地域と連携するふるさと教育活動への支援、各種社会教育団体との連携など「人々が輝くふるさとづくり」にふさわしい事業を推進します。

④「生涯学習情報誌マナビイによる広報活動の充実」

町民の多様な学習ニーズに対応する生涯学習情報の発信に努め、幅広い世代の生涯学習活動の促進を図ります。

⑤「社会教育施設の維持・改修による長寿命化」

本町の社会教育施設につきましては、一部に、経年の劣化が見られますので、長寿命化のため計画的整備を図ってまいります。今年度は、農村環境改善センターや南部公民館の施設設備の補修を進めます。

2 心豊かで文化的な暮らしを支える読書活動の推進

～主要施策3点～

①「町民の読書活動の支援」

昨年導入した図書館システムによる新着図書情報提供サービスや「栗山ふるさと文庫」の編集、備品整備など、より良いサービスや事業が行



開校以来就職内定率 100%を継続する
北海道介護福祉学校

うにしています。

4点目は「施設修学資金」制度の活用です。

この制度は、現在、実施施設が25を、奨学生枠は40を超えました。この制度を活用し、学生の経済的負担の軽減を図り、本校への入学者増加にもつなげてまいります。

②「今年度の学校経営方針」

1点目は「国家試験への備え」です。

国家試験制度導入が再度延期となりました。しかし、国家試験導入時の合格率は、高校生が養成校を選択する場合の重要な判断指標となるため、来るべき国家試験を本校の真価を示すチャンスと捉え、対策や講座などの準備を引き続き進めてまいります。

2点目は「フィンランド交

われるよう、さらなる運営支援をしてまいります。

また、安全・安心な読書環境づくりのため、書架耐震固定化を進めます。

②「栗つ子の豊かな心を育む読書活動の充実」

学校・家庭・地域との連携により「第2次栗山子ども読書活動推進計画」を策定し、「子育てブックスタート・だっこ&ブック」をはじめ、読書ボランティアと連携する事業を展開してまいります。

③「図書館と学校図書室との連携・協働による読書活動の充実」

「ミニくりプロジェクト」の活動に加え、学校と図書館司書とが連携のうえ、調べる力の向上に資する授業支援など、魅力ある学校図書室づくりを支援してまいります。

3 生涯スポーツの推進

～主要施策3点～

①「年齢や技術に応じた生涯スポーツの環境づくり」

スポーツ推進委員や指定管理者、総合型地域スポーツクラブと連携し、スポーツ行事や運動教室など、幼児から高齢者まで誰もが興味・関心や技能のレベルに応じたスポーツを楽しむことができる環境



夕張川の魚道が完成し、夕張川支流や流域の環境保全活動も推進される



フットサルの全道大会2連覇したサンクFC。今年も栗っ子たちがスポーツの大会で大活躍

北海道の里山活動として全国的に知られ、ハサンベツは他町も利用する自然環境教育の拠点になりました。

ハサンベツ里山の活動を広く町民に情報発信するとともに、参加者増を図る仕組みづくりを進めます。また、里山保全・再生活動を自然環境教育のプログラムとし、親子での体験活動などを通じて、幼児から高齢者までの多様な世代が担い手として参画できるようにしてまいります。

②「自然環境保全・再生活動の継続によるふるさと教育環境の充実」

国蝶オオムラサキの発見以来、豊かな自然環境を守り育ててきた活動を次世代に引き継ぐため、ハサンベツ里山を中心としたふるさと自然体験教育の環境整備に努めます。

③「町民参加による自然環境保全・再生中長期計画の策定と、仮称・人と自然が共生するまちづくり宣言」

自然環境教育に関するフィールドの保全・再生に向けた中長期計画、生物多様性基本法に基づく地域戦略など策定やそのための行動計画樹立のため、町民や有識者による協議会を発足させ、宣言に向かいます。

④「町民主体の芸術・文化の推進」

～主要施策4点～

①「優れた芸術・音楽鑑賞機会の提供」

芸術文化に親しむ環境づく

②「スポーツ施設の維持・改修による長寿命化」

本町の優れた体育施設の安全な活用を維持・継続させるため、引き続き、計画的な施設・設備の改修を進めてまいります。

③「地域スポーツ団体の競技力向上」

近年、栗っ子のスポーツでの大健闘が光ります。町内の社会体育施設および学校体育施設を有効活用しながら、スポーツ少年団や体育協会などのスポーツ団体の活動を支援し、競技力向上およびスポーツの普及振興を図ってまいります。



文化団体への支援も継続する

りのため、町民文化の象徴とも言える「札幌ひなまつりコンサート」への支援、「ヤム・ニ・ウシ美術展」、小学校演劇鑑賞事業などの開催を継続してまいります。

②「文化団体の育成と町民による芸術・文化活動の充実」

栗山町文化連盟主催の芸能祭・菊花展の支援を継続するとともに、町民主体で実施している芸術祭・音楽祭などの開催支援を継続します。

③「町内で創作活動を行う芸術家への支援」

町内芸術家の工房新築・改築への支援、町外における個展開催支援を継続します。

④「文化財及び伝統文化に対する町民意識の高揚」

文化財保護委員会活動により、未来に継承すべき貴重な文化財や史跡の適正な保存・

保護を進めます。歴史的建造物の保存・継承については、今後の整備・活用の検討に資するための現状調査を実施します。また、開拓記念館事業や広報アノロを通じ、郷土の歴史や文化、伝統への理解を深め意識の高揚を図ります。

⑤「国際・地域間交流の推進」

～主要施策2点～

①「少年ジェット希望の翼派遣事業の継続」

本町の成人式は、新成人が実行委員会を組織して企画・運営を行います。その中核は国際交流事業の参加者が担います。国際交流事業で貴重な体験をした青少年は、視野を大きく広げ、実践力を高めま

②「ふるさと自然体験を中心としたふるさと教育の推進」

～主要施策3点～

①「ふるさと自然体験教育の充実」

昨年までの実績を基に、自然環境教育を含めたふるさと教育の充実を図ります。幼児対象の「ふるさと原体験」や教育課程にも採用できる新たなプログラムの開発を進めます。また、町民対象のふるさと教育交流会や教職員対象の教育実践研究会も継続します。

②「ハサンベツ里山から雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスに至るふるさと教育環境の利活用の拡大」

ハサンベツ里山や夕張川とその支流、雨煙別小学校コカ・コーラ環境ハウスなどの教育資源と農業や観光など他分野との連携により都市圏を対象とした交流人口の拡大を図ります。

③「夕張川流域の環境保全と教育的活用」

夕張川の魚道整備に伴い、夕張川支流や流域の環境保全のため夕張川自然再生協議会への支援を行い、教育的活用を図ります。

結びに、教育委員5人の決意の一端を申し述べます。

昭和63年11月、栗山町開基百年記念作文・中学生の部最優秀、継立中学校2年生・寺島さんは「開基百年に思うこと」と題する作文で、「これからの栗山町に求める事柄は3つあります」として、「先人への感謝を忘れないでほしい」、「いつまでも自然の豊かな町であってほしい」、「人の心を惹きつける魅力的な町になってほしい」と述べております。27年前の中学生の願いは今でも極めて新鮮で、ふるさとへの熱い想いに感服するものです。「ふるさとは栗山です。」のもとにある栗っ子にも、同じ思いをもっていて欲しいと願うものです。育ちゆく子どもたちが、栗山町を誇りに思い、心豊かにたくましく成長するよう導きたいものですが、栗山の子もたちが、持てる可能性を存分に発揮できるか否かは、私たち栗山の大人の在り様にかかっていることを忘れてはなりません。



先人の労苦により基盤が築かれた本町には、歳月を経て、地域の発展とともに、第6次総合計画基本構想にある「和衷協力」の精神が気風として育っているのです。地域総がかり教育やふるさと教育を大事にするのは、「栗山町の歴史や町民の気風に基づく必然である」と私どもは捉えております。

4月には、改正法施行により教育委員会制度が新たになります。新制度のもと、つながり・連携・協働の「ふるさと総がかりによる栗山らしい教育」を推進するよう努めてまいります。

環境体験教育活動を通じて、栗っ子と被災地福島の子どもたちとの交流を図ります。

☒ **自然環境教育**

ふるさと栗山が輝く自然環境教育の主題を「みんなで支え合い、ふるさと栗山の原風景を大切に作る町民」とし、町民各位と幅広く連携・協働する教育活動の展開を期してまいります。

合言葉「ふるさととは栗山です。」に呼応する「ふるさと教育」は本町教育の特色の一つです。ふるさとへの愛着や誇りを持つ人になって欲しいと願い、豊かな自然環境を活用しながら、伝えて・伝えあつて・関わりあう力を高めるよう努め、学校・家庭・地域が一体となった教育が推進されるよう配慮してまいります。

今年度は、主要方針を2つ掲げて推進します

①「身近な自然、里山環境の保全・再生活動に対する町民参加の機会の増大と担い手づくり」

ハサンベツ里山づくりは、